

新年度の生活がスタートし、早くも十日余りが経ちました。授業も始まり、そろそろ新しいクラスの雰囲気慣れてきたのではないのでしょうか。3年生は部活動において総決算の時期を迎えます。学校祭を見据えて、各クラスで話し合いも始まっています。授業も受験勉強も本格化し、両立は一層難しくなりますが、これを乗り越えようと努力することでしか、「品格あるリーダー」の素養は身につけません。弱音を吐かず、言い訳をせず、果敢にチャレンジしてください。今週は、2者面談期間です。担任の先生にぜひ自分の決意表明をしてください。言葉にすることで見えてくるものがあるはずです。

学習習慣はチェックできましたか？

皆さんは授業に集中できていますか？6時間授業の日はトータルで5時間授業があるので、受験勉強の中心になるのはやはり学校の授業です。

一方で、教員に頼るだけでなく、「自発的・自律的学習者」であることも受験生には求められます。先週、スタディーサポートの結果を返却しました。皆さんの学力&学習状況が分析された個表から、自分の学習面での課題が浮き彫りになっているはず。その課題を克服しようとしていますか？今、行動を起こすか否かに、受験の成否はかかっています。

◆表：131回生 平均学力到達ゾーン(GTZ) & 学習時間

	1年次4月	1年次9月	2年次4月	2年次9月	3年次4月
国数英/国英/数英	A2/A3/A3	A3/A3/B1	A3/A3/A3	A3/A3/B1	A3/A3/B1
国語/数学/英語	A3/A3/A3	B1/B1/A3	A3/B1/A3	A3/B1/A3	A2/B1/A3
平日学習時間(*参考値)	77分(73)	76分(92)	76分(87)	78分(98)	117分(101)
休日学習時間(*参考値)	155分(130)	140分(158)	129分(154)	126分(169)	185分(180)

*参考値：難関大(GTZ:Sレベル)合格者の回答内容の平均値

修学旅行以降、少しずつ受験を意識し始めたのか、学習時間が伸び、平日&休日ともに入学以来最長となっています。学習時間の確保は大切ですが、学習の質も大切です。学習方法に迷ったら、各教科の先生に相談しましょう。そして粘り強く地道に前進することが大切です。

「成績優良者」「成績不振者」の3年生スタート時の学習習慣～スタサポ全国集計から～

【成績優良者】

- ◇ 毎日必ず時間に机に向かい、平日2時間、休日3時間以上の学習をしている。
- ◇ 受験に向け、前向きな気持ちで自主的に努力したいと思っている。
- ◇ 授業では板書だけでなく、重要だと思ったことはメモをとっている。
- ◇ 配布された教材を用いて、積極的に問題演習にも取り組んでいる。

【成績不振者】

- ◆ 学習にムラがあり、自主学習時間は平日・休日ともに1時間以下。
- ◆ 今後の自主学習の目標も、平日・休日ともに2時間以下。
- ◆ 受験勉強のスタートを先送りしている。
- ◆ 授業中は、ほぼ板書を写すだけ。
- ◆ 定期考査前でも、暗記ばかりで問題演習はほとんどしない。

130回生の担任の先生方からアドバイス

先週末の4月13日(金)に、3年新旧担任情報交換会が実施されました。その中で出た、130回生(昨年度の3年生)の担任や進路担当の先生からのアドバイスを、いくつか紹介します。皆さんの一学年先輩を、3年間指導した結果を踏まえた助言ばかりです。ぜひ参考にしてください。

- ✚ 受験は団体戦。真面目に頑張ろうとする生徒が居心地のよい教室にする。欠席&遅刻はご法度。安易に妥協しない(志望、受験科目)。学校祭は全力で楽しむ。
- ✚ 今年の受験はとても厳しかった。数学が苦手だと、理系受験は厳しい戦いとなる。
- ✚ 国公立大現役合格74名中、23名が中後期日程での合格(埼玉大は6/17)。前期不合格でも諦めずに、中後期まで粘ることが大切。
- ✚ 国公立志望者は地方にも目を向けると、合格の可能性が高まる。特に理系では、充実した教授陣、手厚い研究費、少人数教育、企業側からの高い評価等、国公立大のメリットは多い。
- ✚ センター試験後の勉強は重要。ここで頑張れた生徒はある程度の結果を残しているが、頑張り切れなかった生徒は、思うような結果にならなかった。
- ✚ 「〇〇大学に行きたい」という志望がある場合、その大学の複数学部を受験するべき。
- ✚ 生活のサイクルを乱さず、学校中心の学習を続けた者(休日や長期休業中も登校し、自学自習できる生徒)の合格率が高かった(cf.「塾依存型」で伸び悩む生徒多数)。
- ✚ 第一志望へのこだわりは持ってよいが、受験校については柔軟に考えるべき。
- ✚ 最終的には英語の伸びがない生徒の合格実績は芳しくなかった。
- ✚ 英語だけでなく、苦手科目をつくらない努力が必要。読解能力は必須。記述対策で、英語が読めても、不正確な日本語の解答を作成する生徒が多数。受験に不必要な科目はない。
- ✚ 私文の希望者は、早稲田・慶応・上智など最難関の大学合格を目指しそのための勉強をしなければ、GMARCHクラスの合格することは難しいと思われる。
- ✚ 「押さえ校(=すべり止め)」の受験は重要。1月時点での出願の仕方を誤り、「全受験校に不合格→3月入試に追加出願」というケース多数。合格している大学があることで、その後の「実力相応校」「チャレンジ校」の受験に向けて、心理的負担を軽減できる。
- ✚ 国公立大志望者が、センター利用入試(4科目型など)でMARCHに受かっていた。
- ✚ 上智TEAP入試は合格者なし。英語が得点源なら、一般で出願したほうがよい。
- ✚ 河合塾や駿台等の外部模試は積極的に受験すべき。試験だけでなく、電車に乗り間違えて遅刻等も、本番に向けての貴重な経験となる。
- ✚ 目標がセンターに留まっている生徒が多かったようだ。センターの先(二次試験・私大入試(試験内容が難しい))を見通して、勉強を意識する必要がある。

進路コラム:近年の入試動向から② ～センター試験後継原案から～

センター試験に代わる新テスト「大学入学希望者学力評価テスト」が、2020年度から導入されます(現高1生から対象)。英語では従来の「読む」「聞く」に加えて、「書く」「話す」技能をも含めた4技能を評価対象とし、国語では80~120字程度の記述式問題が新たに課されるようになります。

新テスト自体は、あなたたち131回生には直接関係ありませんが、こうしたトレンドはここ数年の大学入試問題にも前倒しで少しずつ反映され始めています。受験生にも、記憶力だけでなく、分析力・推測力・判断力、そして表現力が求められるのだということを知っておいてください。